

第314回月例会議事録	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長 増田	企画運営委員

- ◎ 日時 2019年6月28日（金）10：00～16：30
- ◎ 場所 きゅりあん 6階 中会議室
- ◎ 出席者 35名（法人会員：21社28名 個人会員：7名）

1. 報告事項

1) 自己紹介・トピックス紹介

① 企画運営委員挨拶

・厚労省から基安発0325第1号が出されたことに関連し、9月に厚労省担当官による特別講演を安応研主催で開催することになった。会員をはじめ一般にも案内をする。会場が100名なのである程度のセレクトがある。

機能安全による機械安全の進め方 厚労省 増岡氏

協働ロボットに関する説明 大西氏

IMSに関する安全 清水氏

講演会での質問等があれば安応研事務局までお願いしたい

※配布資料参照 添付資料 1-1

・JIS化に関する情報提供

ここ2～3年ISO・JISが変更されている。JISが各国と一致しているので海外に輸出される際には参考になる。JISとISOとで5年程度のタイムラグがあるので注意したい。

※福田会長：様々なケースによるがドラフト段階から訳すようにしているので発行は早くなると思われる

JIS法の変化 2019年7月1日 日本規格協会が入って早くなる予定

・9月度月例会場所の変更 AM月例会 PM特別講演会 場所：きゅりあん→中小企業センター

・7月度月例会は福田会長の特別講演会を予定

・TUV 杉田氏から依頼のあった電源設備のアンケートについて、回答を願いたい。

情報が得られれば 会員企業に何らかの形でフィードバックをしていきたい。

・パナソニックデバイスSUNX 初参加担当者

RAをしているが本当に正しい機械安全が出来ていない。

ユーザー側はRAが出来ていない企業がほとんどである。

パナソニックグループ全体に機械安全を広めていきたい。

・オムロン 初参加担当者

安全機器 開発を担当

お客様・ユーザーのニーズが把握できていないので把握していきたい。

ロボットを開発している。

コストと安全との両立が課題になる。

・中災防 RAの実施関係で課題を抱えている。様々な意見交換ができればと考える。

2) 定例報告

① 第313回月例会・第37回企画運営委員会の概要。

- ・ 詳細は「第313回月例会議事録」参照。

② 第38回関西月例会・関西委員会活動報告概要。

- ・ 詳細は「第38回関西月例会議事録」参照。

2. リスクアセスメント委員会報告

13:00～14:30

概要…リスクアセスメント委員会活動の経過報告

リスクアセスメント委員会

石原氏報告 添付資料 2-1

RA の資料を HP に掲載するので各自が DL して内容を参照していただき、様々な意見を求めます。

秋までに結果をまとめる予定。

※7月末に 第1段階完成 HP に公開予定 9月末に今回の成果版を公開

3. IMS 委員会設立報告

14:45～16:30

企画運営委員会 大西氏

概要:設立目的、今後の活動内容、最終目標等について説明

※参考資料:https://conference.japan-certification.com/wp-content/uploads/SASUM13_Lecture_materials_0901.pdf

“連続する機械設備の安全” で検索

・インティグレータという概念のない時代から IMS を構築している業界としてどうしているのかの事例報告

・機械メーカーからの意見

企業のノウハウがあるので作業工程・作業分析を公開するのは難しい

作業分析の情報を開示すれば 機械間の繋がりが解ってくるので IMS としては重要である。

プラントエンジニアはシステムインティグレータであるが、それ以外は生業として出来ていないのでは？

・企画運営委員会で方向性落としどころを見極める様にして来月報告

以上

月例会説明資料

資料番号	資料名
1-1	厚生労働省ご担当官による特別講演案内
2-1	リスクアセスメント委員会報告